



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA -

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER
 Dojima Grand Bldg., 1-5-17
 Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN
 PHONE (06)344-1717

CENTENNIAL

Sept. 1983

II - 3

THEME (1983~'84)

- I. P. REACHING OUT
 `手を差し伸べて`
- R. D. CREATIVE POWER
 `創造への熱情`
- D. G. 兄弟の愛をもって
- P. ONWARD CENTENNIAL
 PART II

The King will reply, "I tell you the truth, whatever you did for one of the least of these brothers of mine, you did for me"

そこで王は答える。「はっきり言っておくが、わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことになる」。

(マタイオスによる福音 第25章40節)

◇「部会の月」強調月間〈日本区〉

第33回 中西部会は22日(休)～23日(祝)。

YMCA六甲研修センターにて。チャーター1周年を記念するセンテニアルの意気を示すべく、全員参加を期す。

— 9月・チャーター1周年記念例会プログラム

とき 9月21日(祝) 18:30～20:30

ところ YMCA国際・社会奉仕センター

司会 横山 豊君

1. 開 会 山中 会長
2. ワイズソング 一 同
3. 聖句朗読 中村 隆幸君
4. ゲスト紹介 山中 会長
 (ゲスト) スポンサークラブ会長 向井忠一郎氏
 大阪クラブ 岩越 重雄氏
 サラワク・シブYMCA Miss Mary・Chan
5. 食前感謝「日々の糧」。晩さん 一 同
6. 役員会報告 山中 会長
7. センテニアル1周年特別記念講談
 「黄金の日々後日譚—ジュリア・おたあ物語」
 ベンシー・岩越氏
8. 誕生日のお祝い 山中 会長
9. ニコニコ・アワー 黒田 徹之君
10. 委員長報告・YMCAニュース
11. 閉 会

▲例会当番(上月、鈴木、中村、堀、森、横山各君)

◇誕生日おめでとう

藤井 保男 君 1946年9月12日

松崎 久子 メネット 9月30日

◇結婚記念日おめでとう

皆本 勝久・恵子 夫妻 9月24日



金文周と夫妻・林氏を囲んで 8月例会

8月例会 出席者〔在籍会員35名〕

	第1例会	第2例会	Make up	集 計
メ ン	21名	10名	1名	22名
出席率	60.00%			62.86%
メネット	6名			
コメット	1名			
ヴィジター	5名			
ゲ ス ト	1名			
合 計	34名	10名		

○ヴィジター 金文周・朴聖愛夫妻(釜山アルファクラブ)
 遊上義一・津恵子夫妻、三井満寿雄君

(大阪クラブ)

○ゲ ス ト 林 信泳氏(釜山YMCA)

○メネット 柴田・鈴木・長安・森・森田・山田メネット

◇7月例会出席率の修正

横山豊君。7月12日台北中央クラブに出席。従って7月度出席数を25名に、出席率を71.43%に修正します。

今月の聖句によせて

黒田 敏之

この聖句で王というのは、言うまでもなくキリストを指している。キリストは、この最も小さい者の一人に……と言っておられるが、およそこの世の弱者の常に味方であり、社会的に見て、ごく小さな存在の人にも、その人でなければ果せない特別な使命をもってこの世に生れてきたという、人間の尊厳性の教えの根拠をここにも見出すことができる。故湯浅八郎博士が、ある時、ICU（国際基督教大学）で記念碑をつくった時に、「この記念碑の筆頭に名を刻むべき人は、ICUを愛し、朝夕に校庭を掃除された園丁の宮沢吉春さんである」と主張された。徹底して個人の、そして小さな存在に見えても、無限の尊厳性をもつことを教えられたエピソードを思い出すのである。

釜山ワイズの友を迎えて賑やかに — 8月例会記録 —

8月は納涼例会と銘うって、賑やかなビア・パーティの例会が持たれた。会場は昨年と同じ「ローゼンタール肥後橋」。一年の間にメンバー同志すっかり気心うちとけて、アットホームなパーティであった。思いがけず韓国より珍客が来訪され、楽しさも一段と盛り上がった。釜山YMCA総務の林信泳氏、釜山アルファYSの直前会長である金文周氏と朴聖愛夫人。それにアルファとBCを結ぶ大阪クラブから遊上夫妻、三井満寿雄の3氏も仲間に入られた。加えて嬉しいことは、長らくガンとの闘病生活を過しておられた阪田一夫会員が、久しぶりに元気な姿で出席されたことであった。

プログラムは長安副会長の司会により、前半は厳粛に進行。今月より定例化することになった「聖句朗読」も川越君によって行われた。乾杯はお揃いで誕生月を迎えた森夫妻のリードで、いよいよなごやかな日韓交流のパーティとなった。釜山アルファのこれまでの活動やメネットのアクティブな奉仕活動などのめざましい成果の話聞き、感嘆すると同時にはるかに及ばぬ我々の現状を反省することしきり。又、カナダのICMに出席し、アメリカのエリア大会にも参加して帰国した谷川君の楽しいお土産話などは別項に詳述される。エンタテイメントは森田君による甲子園高校野球のテーマソング「君よ、8月に熱くなれ」の歌唱指導。中高年組はリズムに乗り切れずいささか盛り上りを欠いたが、飛び入り朴夫人のアリランのダンス披露によってパーティは最高潮となった。

8月第2例会の記録 — 8月24日(水) —

1. 9月より会員増強開始のこと。

新入会員は3ヶ月の事前出席が義務であり、日本区のEMC強調月間である来年1月から逆算すれば10月からの出席が必要。9月から勧誘を開始すること。

2. クリスマス・ファミリー例会準備委員

委員長、藤井君。大野・中川・中野・西出・森田「ファミリー」の諸君に委任する。

3. ワイズ・ギネスブック編集について

東京江東クラブより「ワイズに関するギネスブック」編集への協力依頼あり。まずセンテナルのギネス記録を収集することにして、会員からの情報提供を求めることとする。お心当りの向きは山中会長まで。

4. アイデア募集(日本区YMCAサービス事業委員会)

YMCAを広く社会にアピールするためのビデオライブラリーを計画中。ワイズとして利用できるようなテーマや内容について、ワイズメンからアイデア・意見を募集中。応募者はどなたでも、形式もハガキで自由です。10月11日がメド切。YMCAサービス事業主任・松田俊彦氏宛。ふるってご応募を。詳細は鈴木書記までお問合せのこと。

— < 鋭視野・ASIA > —

アジアの問いかけ、日本の課題(最終会)

東京女子大学学長 隈谷三喜男氏

アジア観の転換

では、日本はどのようにしてこの問いかけに応じていけばいいのでしょうか。

まず第1は、軍事大国に対して平和憲法の堅持の問題というのがあります。確かに軍事化への危機が進んでいることは否定できない。しかし、東西対立の中で日本は平和憲法を柱にしながら、東西の調停役を演じるという方向を、少なくとも明確にしなければいけないと思います。

それから経済進出については、大変難しい問題があって、前にも述べたように日本への批判も、政府からまた民衆からといろいろ質が違います。日本が経済協力をするという時に、昔は「ヒモつきの援助」をしていた。独裁政権に「ヒモつきでない援助」をした時にどうなるかは、大変な問題です。また反対にヒモをつけて貸すと、従属的な関係が強くなる。そういう意味で、経済協力のあり方が、今問われているわけです。それに対しどうしたらいいかということは、そう単純に答えは出ないと思います。ただ経済進出と国際協力の問題についての問題性の指摘を、私たちはしていかなければならないと思います。

それから最後の問題は、アジア観の転換を一つの課題として担っていかなくてはいけないということです。アジアに対する関心をもっと日本人の間に浸透させる必要がある。日本の新聞などでも、権力を持っている人が日本をどう考えているかという報道はしませんが、そうではなく、民衆という視点をきちっと踏まえて考えることが重要だと思います。そういう意味では、民間人同志の交流が持っている意味をきちんと位置づけ、展開し相互の人間的な信頼関係を確立していくことが今日決定的に重要ではないだろうかと思えます。

(日本YMCA同盟国際協力委員会での特別講演録)

センテニアル・各事業委員長の方針と決意

'83年度各事業担当は8月号に掲載しましたが、各委員長より方針や抱負が寄せられたので発表します。全員が事業目的を理解し、協力して実現努力をいたしましょう。

IBC活動の実行について 森 庄司

チャーターナイト一周年を前に早くもすばらしいブラザークラブを持つことが出来、これも先輩各位の御努力の賜と感謝する次第です。折角のこの立派なB、C、との関係を有名無実にとらせないためには、会員全員による活動の推進が必要であり、みなさまの御協力をお願いいたします。具体的な計画については次のように考えております。

1. 近い将来に於ける親善訪問の実現
2. NUUANUクラブ会員の訪日推進への協力及びホームステイの受入れ
3. 全員によるクリスマスカードの交換を含め両クラブ会員同志の個人的な通信の奨励及びメネット間の交流の促進。
4. 簡単な英語ブリテンの発行と郵送(3ヶ月に1回位)
5. ブリテンにIBC欄を設ける。

その他積極的なアドバイスをお寄せ下さい。

YEEP委員会の活動方針 松添 壮

Y'S活動そのものにまだ一年生の私が重要委員会の委員長に任命され、目標・方針を述べよとなるとまさに盲目蛇に怖じずの心境です。たまたまライオンズクラブ国際協会にて10年前、西日本複合地区YEP(国際青少年交換計画)委員長をつとめ、当時その基礎づくりをやって、今日年間500名を越す交換人数の発展に寄与したと自負する強心臓の持主として、それから得た経験がY'Sのこの活動にいくらかでも役立ち得るなれば存外の喜びであると、ひそかに自己期待しておる次第です。

YEEPの原則はY'Sメンの子弟を一年程度海外のY'Sメン家庭に送り交換留学させる事業となっていますが、簡単に解決し難い大小多様な問題が含まれています。例えば交換と明示してある以上送り出す一方通行では不公平です。従って私は先ず実行し易く距離的にも近く親しいクラブ、即ちBC提携したばかりのヌアスクラブと、それも本来の基準からは少し外れるが、夏休み6週間位の短期交換から始めて、小さくとも実行優先を試みては如何かと考えております。谷川先輩のお話によると最近ハワイでは祖国日本の技術・経済の驚愕的躍進を思慕する日系四世達のルーツから、日本留学を希望する青少年が増えている由です。当委員会にとって好ましい材料ですね。メンバー各位のご提案、お知恵を歓迎します。

ASF事業に理解と協力を 森 庄司

P、Wアレキサンダーフェンドは本年からPWを略してASFと呼ぶことになりました。将来YMCAの指導者を志す青年に奨学金を支給し援助育成するものですが、会員による定額拠出金で賄い切れないので毎年強化月間に特別寄付が募られています。本年は11月が強調月間に当たりますが、当クラブとしてもYMCA国際・社会奉仕センターに拠る者として、又Y'Sの代表的なサービス事業の一つであるこの事業の主旨を理解して積極的な協力をすべきと考えております。

CS事業の目標 藤本 史郎

- 国際プログラム-Time of Fastについて。
豊饒の中で断食をノ 2月をTOF強調月間とします。
例会食事を断食し拠金にまわし、YMCA世界同盟を通じて国際プログラムに参加します。
- 日本区プログラム-CS資金
年賀状のお年玉切手を集めます。昨年実績194枚。本年度の目標は250枚。1人当たり8枚以上集めよう。
- クラブプログラム-CS活動
YMCA又はY'Sの長期展望に立って、新しいプログラムを創造しましょう。ご協力下さい。

EMC事業 杉本恭之助

1. 方針
まずは足もと固めの年度。クラブを楽しくスマートに一層充実させよう。
Eは「いゝから」。
Mは「もうチョイ」。
Cは「調子をあげようやノ」。
2. 目標
◎・クラブ拡張 将来の方向を摸索する。
◎・メンバー数 40名・前年度末の10%増。
◎・出席率 79%・前年度平均の10% up。
3. 施策
事業委員会で活動計画を検討し策定する。

ブリテン編集方針 山田 孝彦

- ① Vivid: クラブの事業が活性化すれば、ブリテン記事も自ら躍動します。紙数不足で書き切れないと編集者が悲鳴をあげるほどの活動をお願いします。
- ② Visual: 見易く、読み易く、楽しい紙面作りを心がけます。写真やイラストをお寄せ下さい。
- ③ Variously: "Y'SはWiseに通ず"とか。多彩で多才なワイズメンのご登場によって内容豊富なブリテンにしたいものです。原稿依頼には進んでご協力を。

メネット会 山中ちあき

大阪合同メネット会連絡会が開かれ、鈴木メネットと共に出席しました。関西合同メネット会が毎年持ち廻りで、4月に行われます。本年度は、豊中・千里クラブと協同で大役のお手伝いすることになりました。9月に一度集って協力をお願いしたり、打合せしたく思います。又スリランカ募金もその時話し合いたく存じます。

第33回 中西部会 ごあんない(第2報)

- と き 9月22日(木)~23日(祝日)
- と ころ YMCA六甲研修センター
- ホスト 大阪サウスワイズメンズクラブ
- ゲストスピーチ
「ジャーナリストの目で見た青少年の心」
NHK・チーフディレクター 影山一夫氏
- コメントプログラムも一ぱい
マンガ大会・映画・野外プログラムなど。
昼食は野外で楽しいバーベキュー
- 会 費 第1報でお知らせのとおり。
- 申し込 クラブでまとめます。書記まで申し出下さい。

アメリカ・エリア大会に出席して



谷川 寛

7月15日に出発して15日間アメリカ・エリア大会及びカナダでの国際会議（ICM）に出席して来ました。国際会議の報告は日本区報にゆづりアメリカ・エリア大会について、その印象をお伝えします。

エリア大会は、世界の半導体のメッカと呼ばれるシリコンバレーの一角、サンノゼのハイエット・ホテルで開かれました。450名のワイズメン・メネットが米国全土から集まりました。日本区大会と異り、3泊4日というスケジュールで、プログラムの中に観光・フォーラム・半日自由・エンタテイメントなどを含めた余裕のある大会でした。年輩のワイズメンが多く、若い人の出席はあまりありません。

大会中の報告によると、アメリカ・エリアは今期7つの新しいクラブをチャーターしましたが、失った数も多く17のクラブが消えました。グループ・ディスカッション（フォーラム）では、将来のアメリカのワイズをどうするか、ワイズの再活性化が議題の中心でした。アメリカのリーダー達は真剣に取り組んでいます。

国際ワイズも、アジア・インドの大きな伸びに対して、ワイズ発祥の地アメリカ、そしてカナダの伸び悩みが目立ちます。今後彼等がいかにして活力を取戻すかが、世界の課題だと思えます。私達も単なる傍観者ではられません。

下り坂のアメリカではありますが、ワイズ本来の精神である「サーブス精神」は未だ衰えをみせていません。ASF・YEOP・TIME OF FASTなどで、地味ながら着実な活動が続けられており、この点は私達の大いに見習うべき点でしょう。

来年のグランドラビッツの国際大会には、日本からは是非200名以上の代表団を送ってほしいと云っていました。ミシガンはワイズの中心地です。きっとすばらしい大会になるでしょう。みんな参加して、ワイズの神髄を味わって来ようではありませんか。



アメリカ・エリア大会のシーン

釜山アルファのめざましい活躍ぶり

大阪クラブとBCを結ぶ釜山アルファクラブは韓国最古のクラブで1957年設立。25年の歴史と活動の実績を持つ。8月例会に参加された直前会長、金文周氏ご夫妻よりその活躍ぶりをお聞きしたので、その一端を紹介しよう。私達の今後の活動指標としたいもの。

(1) 無医村奉仕活動

会員である医師を中心に年2回無医村奉仕を行う。メネット会は看護婦や炊事役として同行奉仕する。抜いたムシ歯がバケツに一杯などということもあった。日本円にして150万円の医薬品を毎年贈る。

(2) 家畜増殖作戦

羊・牛・豚などの子供を農村に贈り飼育する。教年後数が増えた所で一頭返してもらい、又別の村に贈るという繰返して、最初5頭から始めたものが今では毎年120頭の羊が返ってくるようになった。

(3) その他、身障児の学校に奉仕したり、YMCAを通して奨学金を贈るなどの活動も続けている。

(4) 30クラブをチャーター。

25年間に30の新しいクラブを誕生させるという、めざましいエクステンション活動を実現した。

〈YMCA ニュース〉

▽六甲カーニバルへ全員集合

恒例のYMCA六甲カーニバルが今年も9月15日（祝日・午前10時半～午後3時）に開催されます。昨年は当クラブのチャーター・ナイトの直前でもあり積極的に参加出来ませんでした。今年是非ご家族・ご友人をおさそい合せのうえ、涼しい六甲の山で楽しく一日を過ごすではありませんか。詳しくはチラシをご覧ください。

▽センチナルクラブは、世界コミュニケーション年にちなんで“風の便り”を企画しています。風船に結んだメッセージカードを風にのせて大空に放とうという趣向です。拾った人からどんな返事が来るのかがお楽しみ。国際奉仕センターは原爆の10フィート映画を上映の予定。

▽メリー・チャンさんの研修受入れ

この度大阪YMCAとのつながりの深いマレーシア・シブYMCAより体育専門指導者メリー・チャンさんの研修を奉仕センターを窓口を受入れることになりました。シブYはこの春のサラワークワークキャンプの受入れ先で、専任スタッフはおりませんが、彼女の研修が同Yのプログラム発展に役立つことを望んでいます。皆様には9月例会でご紹介の予定です。

計 報

鈴木謙介氏ご母堂“志ん”さんは稀なるご長寿で、ワイズメンの間でも知名の媼であられたが、去る8月8日夕刻102才7ヶ月の天寿を全うし、召天された。謹しんで、み霊安かれとお祈りします。

IBC・NUUANU Y's 特集

◎NUUANU Y'S UP (クラブブリテン)が、杉添君の訪問を以上のとおり報じています。

A Visitor from Our Brother Club
Tsuyoshi Matsuzoe, a member of the Osaka Centennial Y's Men's Club, was a visitor in Honolulu during the week of June 20th through the 26th. Your President, Glenn Matsukawa, Peter Ackman and Larry Hiranaka, had an opportunity to meet with Tsuyoshi on Saturday, June 25th. Tsuyoshi conveyed that your Brother Club in Osaka wishes to have an exchange program going, not only between the Y's Men of the two Clubs, but also in the area of establishing a Youth Exchange Program. Discussion was very fruitful from the standpoint that there is expectations that a delegation of 10 to 15 members of the Osaka Club may be coming to Hawaii next summer. Tsuyoshi regretted that he couldn't accept our invitation to attend the Metro's installation dinner held June 25th inasmuch as he was already committed to a dinner. He conveyed, however, to express his greetings to members of the Club and extended his invitation to any member to call on the Osaka Club members should any of you visit Osaka.



(写真説明)

右からグレン・松川(会長)、ピーター・アックマン(直前会長)、ラリー・平中(元会長)、松添の各氏。

◎Letter from NUUANU.

センテニアルのクラブ名簿を送ったことへの返信が、IBC森委員宛届いたのでご紹介します。

Dear Mr. Mori:

Thank you for your introductory letter together with your Club's roster.

Glenn Matsukawa, our new President, had asked me to serve another year as the Nuuanu's Brother Club Chairman, and I have graciously accepted to chair it. Therefore, Communications could either be referred to me or Glenn.

At our next meeting, I shall present your Club's roster to the Club's President and Secretary for placement in the Club's current file. Glenn informs me that the Nuuanu Club's roster should be compiled shortly and will be forwarded to your Club very shortly.

Thank you again for your introductory letter, and I look forward to having our line of communication constantly filled with information about our Brother Clubs. Please convey my greetings to all of your members.

Aloha
Larry Hiranaka,

NEWS IN BRIEF

・ハワイ地区のワイズメンが主催したハワイ太平洋集会在が "HUMAN EXPLOSION '83" をテーマに 8月4日から4日間、ホノルル郊外のYMCAキャンプ場で開かれました。ハワイ以外に、米本土、日本、台湾、香港、豪州などからの参加がありました。

日本からは、青木、福田の2人のワイズメンと、2人の青年代表が出席しました。日本代表はホノルル到着後、キャンプ参加まで、私達のBC、ヌアヌ・クラブのL・ヒラナカ、G・マツカワ、B・クワハラ等のメンバーが中心になってお世話を受けたとの報告が来ています。

・8月既報のとおり、来年7月の国際大会は米国ミシガン州のグランド・ラビッツですが、1,400名の参加を予定しているそうで、日本は200名位の大型代表団を期待されています。NW航空によるチャーター便が予定されるそうです。夏のミシガン湖は最高です。きっとすばらしい大会になることでしょう。今から資金計画を立てて是非に参加しましょう。

・日本から目下ただ一人のYEPP留学生として、カリフォルニア・ハムフォードに滞在していた東アキ子さん(和歌山クラブ)は、ハワイ経由で帰国されました。ハワイでは又しても、ヌアヌクラブが彼女のお世話をして下さいましたとのことです。